

# トライアングル

2010.3

特集

## 平成20年度の業務用冷凍空調機器からのフロン類の回収量等の集計結果について

平成20年度の業務用冷凍空調機器からのフロン類の回収量等の集計結果について

環境省及び経済産業省より「平成20年度のフロン回収・破壊法に基づく業務用冷凍空調機器からのフロン類回収量等の集計結果について」、21年12月22日報道発表がありました。平成20年度にフロン類を回収した業務用冷凍空調機器の台数は約124万台（対前年度比約20万台増）、回収されたフロン類の量は約3,773トン（対前年度比約605トン増）と、いずれも前年度を上回っています。

はじめに

フロン回収・破壊法（「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」）により、業務用冷凍空調機器（業務用エアコン及び業務用冷凍・冷蔵機器）の廃棄時等及び整備時において、冷媒として使用されているフロン類の回収が義務付けられています。

同法により、第二種フロン類回収業者（業務用冷凍空調機器から冷媒フロン類を回収するため都道府県知事に登録している者）は、前年度に回収したフロン類の量等を都道府県知事に毎年度報告し、都道府県知事はその報告に係る事項を主務大臣（環境大臣及び経済産業大臣）に通知しなければならぬこととされています。主務大臣は、この通知事項等を整理して特定製品に係るフロン類の回収の状況等の情報を公表することとされており、今回の公表はこの規定に基づくものです。

なお、平成19年10月1日に改正フロン回収・破壊法が施行され、新たにこれら製品の整備時におけるフロン類回収義務・報告義務が明確化されたほか、行程管理制

度の導入等により業務用冷凍空調機器の廃棄時等における回収強化策が導入されています。

表1 第一種フロン類回収業者による回収量等（平成20年度）

		CFC	HCFC	HFC	合計
合計	回収した第一種特定製品数 (台)	104,130	685,974	447,374	1,237,478
	回収量 (kg)	290,159	2,814,431	668,777	3,773,367
	20年度当初の保管量 (kg)	29,745	134,456	38,084	202,285
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	202,592	2,300,123	521,525	3,024,240
	再利用等された量 (kg)	90,460	510,677	135,311	736,449
	20年度末の保管量 (kg)	26,846	138,085	50,027	214,957
廃棄時等	回収した第一種特定製品数 (台)	98,197	550,569	338,175	986,941
	回収量 (kg)	197,281	1,879,404	199,359	2,276,044
	20年度当初の保管量 (kg)	22,950	88,214	12,037	123,201
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	185,752	1,632,704	172,701	1,991,158
	再利用等された量 (kg)	14,828	249,984	24,879	289,691
	20年度末の保管量 (kg)	19,642	84,929	13,817	118,388
整備時	回収した第一種特定製品数 (台)	5,933	135,405	109,199	250,537
	回収量 (kg)	92,879	935,027	469,417	1,497,323
	20年度当初の保管量 (kg)	6,794	46,243	26,047	79,084
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	16,840	667,419	348,824	1,033,082
	再利用等された量 (kg)	75,632	260,694	110,432	446,758
	20年度末の保管量 (kg)	7,203	53,156	36,210	96,569

表2 フロン類回収量等の前年度との比較

		19年度	20年度	増減	増減率
合計	回収した第一種特定製品数 (台)	1,032,635	1,237,478	204,843	19.8%
	回収量 (kg)	3,168,357	3,773,367	605,010	19.1%
	年度当初の保管量 (kg)	148,313	202,285	53,972	36.4%
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	2,378,053	3,024,240	646,187	27.2%
	再利用等された量 (kg)	729,368	736,449	7,081	1.0%
	年度末の保管量 (kg)	209,253	214,957	5,704	2.7%
廃棄時等	回収した第一種特定製品数 (台)	900,539	986,941	86,402	9.6%
	回収量 (kg)	2,273,274	2,276,044	2,770	0.1%
	年度当初の保管量 (kg)	148,313	123,201	25,112	16.9%
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	1,891,440	1,991,158	99,718	5.3%
	再利用等された量 (kg)	392,409	289,691	102,718	26.2%
	年度末の保管量 (kg)	137,740	118,388	19,352	14.0%
整備時	回収した第一種特定製品数 (台)	132,096	250,537	118,441	89.7%
	回収量 (kg)	895,083	1,497,323	602,240	67.3%
	年度当初の保管量 (kg)	0	79,084	79,084	-
	破壊業者に引き渡された量 (kg)	486,613	1,033,082	546,469	112.3%
	再利用等された量 (kg)	336,959	446,758	109,799	32.6%
	年度末の保管量 (kg)	71,512	96,569	25,057	35.0%

回収量等の集計結果  
平成20年度に回収された業務用冷凍空調機器の台数約124万台(対前年度比約20万台増)以下、括弧内は対前年度比)

及び回収されたフロン類の量約3,773トン(約605トン増)の内訳は、次のとおりです。

(整備時回収は、平成19年10月から施行された改正フロン回収・破壊法により新たに集計の対象とされた。平成19年度分は平成19年10月～平成20年3月までに係るもの。)

「のうち、廃棄時等回収について、回収台数は前年度と比べて増加(約9万台、約10%増)しており、回収量は前年度と比べてほぼ横ばいとなっておりますが、これは、ビル解体等大口の廃棄案件が引き続き減少していること(建築物の除却実績は前年度比4%減)、景気後退による影響を受け、都道府県によって差はあるものの、大型施設等の設備更新が控えられたこと等により、廃棄された業務用冷凍空調機器に含まれると見込まれるフロン類の量(廃棄時残存

表3 フロン類の種類別の台数及び回収量の前年度比較

		CFC		HCFC		HFC	
		台数 (台)	回収量 (kg)	台数 (台)	回収量 (kg)	台数 (台)	回収量 (kg)
合計	19年度	104,096	342,351	667,412	2,404,315	261,127	421,691
	20年度	104,130	290,159	685,974	2,814,431	447,374	668,777
	構成比率	8.4%	7.7%	55.4%	74.6%	36.2%	17.7%
	増減	34	52,192	18,562	410,116	186,247	247,086
廃棄時等	19年度	98,635	241,084	587,573	1,846,502	214,331	185,688
	20年度	98,197	197,281	550,569	1,879,404	338,175	199,359
	構成比率	7.9%	5.2%	44.5%	49.8%	27.3%	5.3%
	増減	438	43,803	37,004	32,902	123,844	13,671
整備時	19年度	5,461	101,268	79,839	557,812	46,796	236,003
	20年度	5,933	92,879	135,405	935,027	109,199	469,417
	構成比率	0.5%	2.5%	10.9%	24.8%	8.8%	12.4%
	増減	472	8,389	55,566	377,215	62,403	233,414

機器の廃棄時等：約99万台(約9万台増)  
約2,276トン(約37増)  
機器の整備時：約25万台(約12万台増)、約1,497トン(約602増)

冷媒量)が一台当たりでは相対的に少なかったこと等が考えられます。  
また、整備時回収量は平成20年度フロン類回収総量の約4割を占める規模となっており、整備時回収を改正フロン回収・破壊法により報告対象に加えた効果は大きいと考えられます。

参考1 フロン類廃棄時回収率の推移(見直し前後の比較)

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
見直し前(昨年度以前の公表値)		28%	31%	32%	36%	32%	
今回見直し後の値	35%	29%	30%	31%	32%	27%	28%

参考2 回収量の推移

(単位:t)

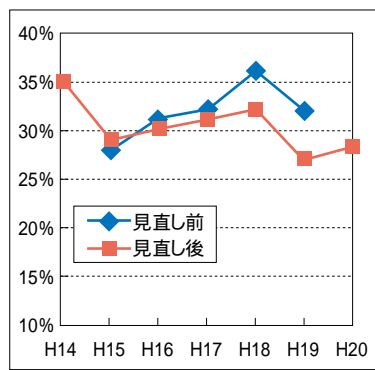
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
廃棄時等回収量	1,958	1,889	2,102	2,298	2,542	2,273	2,276
整備時回収量	-	-	-	-	-	895	1,497
合計	1,958	1,889	2,102	2,298	2,542	3,168	3,773

参考)廃棄時等の回収率について

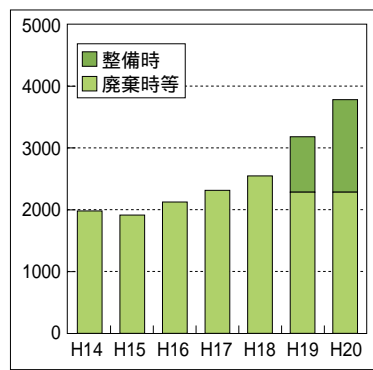
業務用冷凍空調機器の廃棄時における冷媒フロン類の回収率は、機器の年度別出荷台数、経年別廃棄台数割合、フロン類初期充填量等から廃棄時残存冷媒量を推計し、これと廃棄時等回収量との比率で算定されます。また、経済産業省による業務用冷凍空調機器の使用時排出係数及び経年別廃棄台数割合の本年3月の見直しに伴い、廃棄時残存冷媒量の推計方法が昨年度までのものから大幅に変更されています。(平成20年度の廃棄時残存冷媒量は約8,154トンと推計され、同年度の廃棄時等回収量は約2,276トンであることから、フロン類の廃棄時等回収率は約28%と推定されます。)  
 なお、廃棄時残存冷媒量の推定方法の変更を受けて、昨年度以前の回収率についても再度推計がされています。  
 整備については、要整備機器台数や整備対象機器の含有冷媒量の推計が困難なため回収率は算定されていません。

このように、業務用冷凍空調機器に係るフロン類の回収量は着実に増加していますが、他方でフロン類の廃棄時等の回収率は約3割と推定され依然として十分とはいえないため、引き続き回収徹底の取組が必要です。環境省では、今後、経済産業省、都道府県等と連携しつつ、改正フロン回収・破壊法の周知徹底と施行強化にさらに取り組むとともに、回収促進に向けて運用上の課題等を整理・検討していくこととしていきます。

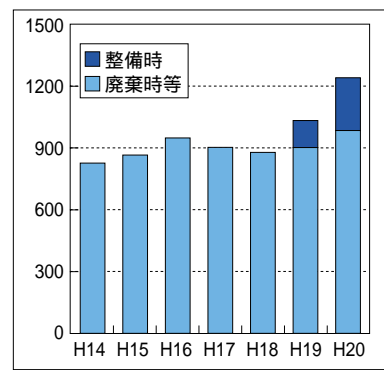
フロン類廃棄時回収率の推移



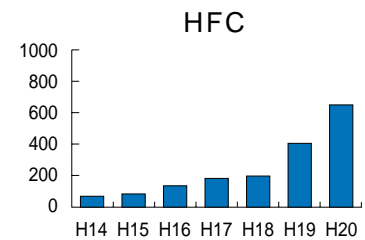
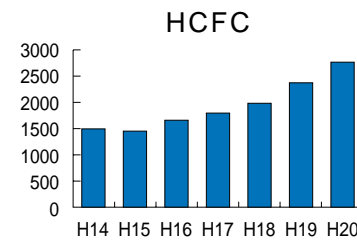
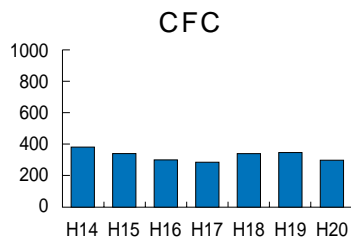
回収量の推移(単位:t)



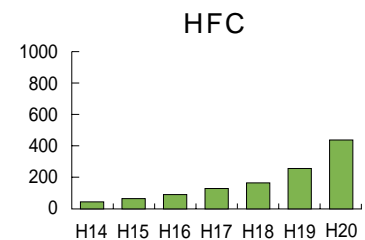
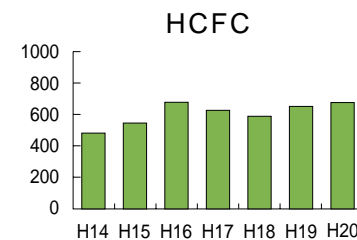
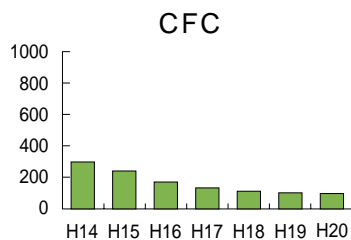
回収台数の推移(単位:千台)



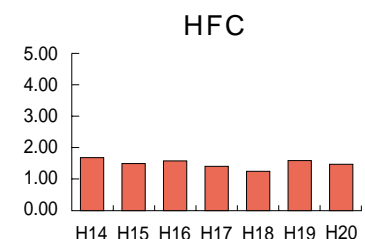
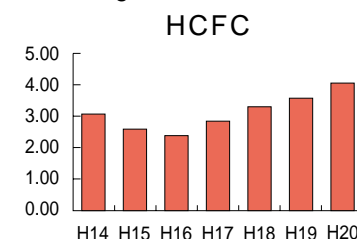
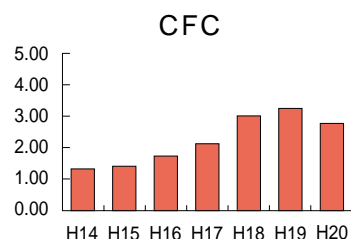
各フロン類別回収量の推移(単位:t)



各フロン類別回収台数の推移(単位:千台)



各フロン類別1台あたりの回収量の推移(単位:kg)



都道府県別回収状況について

フロンの回収状況を都道府県別に見ると、3物質(CFC、HCFC、HFC)の合計(廃棄時等+整備時)では、回収台数は、東京都が139,304台で第1位(前年第1位)、愛知県が109,378台で第2位(同2位)、兵庫県が92,345台で第3位(同3位)となっています。また、回収量は東京都が64,693.2kgで第1位(同1位)、大阪府が30,484.9kgで第2位(同2位)、愛知県が28,340.6kgで第3位(同3位)、兵庫県は165,957kgで第7位(同5位)となっています。

それぞれのフロンの種類別で見ると、HFCの回収台数は前年に引き続き兵庫県が第1位となっていますが、それ以外はすべて東京都が第1位となっています。

また、廃棄時等・整備時の別でも、回収台数・回収量ともに東京都が第1位(前年と同じ)となっており、兵庫県は廃棄時等回収台数が第3位(前年第2位)、回収量が第7位(同5位)、整備時回収台数が第7位(同10位)、回収量が第6位(同6位)となっています。

なお、全国に占める兵庫県の割合についてみると、全国第3位の回収台数は全体の約7.5%(前年約8.0%)、全国第7位の回収量は全体の約4.4%(同4.5%)となつていますが、回収台数の全国に占める割合は、兵庫県の事業活動規模等からすれば、比較的高い数値となっています。

平成20年度 都道府県別回収量(上位10団体)

(単位:台・kg)

順位	合計(廃棄時等+整備時)															
	CFC		HCFC				HFC				合計					
	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量				
1	東京都	12,286	東京都	57,394	東京都	88,692	東京都	488,161	兵庫県	44,644	東京都	101,377	東京都	139,304	東京都	646,932
2	愛知県	11,892	京都府	19,101	愛知県	59,416	大阪府	225,698	東京都	38,326	愛知県	64,118	愛知県	109,378	大阪府	304,849
3	兵庫県	8,556	大阪府	17,034	静岡県	46,740	愛知県	202,439	愛知県	38,070	大阪府	62,117	兵庫県	92,345	愛知県	283,406
4	埼玉県	7,276	愛知県	16,848	大阪府	44,723	神奈川県	194,643	神奈川県	31,711	静岡県	45,204	大阪府	78,696	神奈川県	253,532
5	北海道	7,094	神奈川県	15,382	兵庫県	39,145	茨城県	146,460	群馬県	30,664	神奈川県	43,507	埼玉県	72,672	静岡県	179,866
6	神奈川県	5,457	埼玉県	14,497	福岡県	36,139	静岡県	124,624	埼玉県	30,276	兵庫県	39,813	静岡県	70,594	茨城県	167,096
7	大阪府	5,211	広島県	13,740	埼玉県	35,120	埼玉県	118,189	大阪府	28,762	埼玉県	31,120	神奈川県	67,899	兵庫県	165,957
8	福岡県	3,189	三重県	10,744	神奈川県	30,731	兵庫県	115,464	静岡県	21,433	千葉県	21,914	福岡県	59,286	埼玉県	163,806
9	宮城県	3,020	兵庫県	10,680	茨城県	24,720	福岡県	105,704	福岡県	19,958	福岡県	19,110	群馬県	52,433	千葉県	132,316
10	福島県	2,993	静岡県	10,038	北海道	20,423	千葉県	100,772	岐阜県	19,405	群馬県	14,752	北海道	38,095	福岡県	130,190
—	全国平均	2,216	全国平均	6,174	全国平均	14,595	全国平均	59,882	全国平均	9,519	全国平均	14,229	全国平均	26,329	全国平均	80,284

順位	廃棄時等回収															
	CFC		HCFC				HFC				合計					
	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量				
1	東京都	12,114	東京都	54,455	東京都	72,905	東京都	362,188	兵庫県	40,377	東京都	41,133	東京都	110,074	東京都	457,776
2	愛知県	11,426	京都府	18,698	愛知県	49,073	大阪府	150,813	愛知県	30,866	愛知県	20,477	愛知県	91,365	大阪府	175,642
3	兵庫県	8,422	神奈川県	12,837	静岡県	41,776	神奈川県	142,477	神奈川県	26,356	大阪府	16,790	兵庫県	81,822	神奈川県	170,466
4	埼玉県	7,068	千葉県	9,203	兵庫県	33,023	愛知県	133,322	東京都	25,055	静岡県	15,601	静岡県	62,528	愛知県	162,634
5	北海道	6,747	愛知県	8,834	大阪府	32,762	茨城県	125,232	埼玉県	23,651	神奈川県	15,151	埼玉県	60,828	茨城県	134,543
6	神奈川県	5,179	大阪府	8,039	福岡県	30,672	埼玉県	86,570	群馬県	23,498	兵庫県	11,828	大阪府	57,965	埼玉県	103,330
7	大阪府	4,993	兵庫県	7,749	埼玉県	30,109	福岡県	71,905	大阪府	20,210	埼玉県	10,557	神奈川県	55,960	兵庫県	91,162
8	宮城県	2,966	静岡県	6,598	神奈川県	24,425	兵庫県	71,585	静岡県	18,444	千葉県	6,553	福岡県	49,158	静岡県	90,916
9	福岡県	2,945	埼玉県	6,203	茨城県	21,979	静岡県	68,716	岐阜県	17,820	群馬県	5,836	群馬県	42,812	千葉県	81,150
10	福島県	2,934	茨城県	5,521	宮城県	17,900	千葉県	65,394	福岡県	15,541	福岡県	5,554	北海道	32,342	福岡県	80,626
—	全国平均	2,089	全国平均	4,197	全国平均	11,714	全国平均	39,987	全国平均	7,195	全国平均	4,242	全国平均	20,999	全国平均	48,426

順位	整備時回収															
	CFC		HCFC				HFC				合計					
	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量	回収製品台数	回収量				
1	愛知県	466	広島県	10,614	東京都	15,787	東京都	125,973	東京都	13,271	東京都	60,244	東京都	29,230	東京都	189,156
2	千葉県	414	大阪府	8,995	大阪府	11,961	大阪府	74,885	大阪府	8,552	大阪府	45,327	大阪府	20,731	大阪府	129,207
3	北海道	347	埼玉県	8,294	愛知県	10,343	愛知県	69,117	愛知県	7,204	愛知県	43,642	愛知県	18,013	愛知県	120,773
4	京都府	280	愛知県	8,014	神奈川県	6,306	静岡県	55,907	群馬県	7,166	静岡県	29,603	神奈川県	11,939	静岡県	88,950
5	神奈川県	278	三重県	5,500	兵庫県	6,122	神奈川県	52,166	埼玉県	6,625	神奈川県	28,355	埼玉県	11,844	神奈川県	83,066
6	福岡県	244	栃木県	4,871	千葉県	5,994	兵庫県	43,879	神奈川県	5,355	兵庫県	27,985	千葉県	10,856	兵庫県	74,795
7	大阪府	218	岡山県	4,401	福岡県	5,467	千葉県	35,378	千葉県	4,448	埼玉県	20,563	兵庫県	10,523	埼玉県	60,476
8	鹿児島県	212	静岡県	3,440	埼玉県	5,011	福岡県	33,800	福岡県	4,417	千葉県	15,361	福岡県	10,128	千葉県	51,166
9	埼玉県	208	長野県	3,275	静岡県	4,964	埼玉県	31,619	兵庫県	4,267	福岡県	13,556	群馬県	9,621	福岡県	49,564
10	愛媛県	202	愛媛県	3,257	広島県	4,946	山口県	30,425	京都府	3,661	北海道	12,136	静岡県	8,066	広島県	48,185
—	16兵庫県	134	12兵庫県	2,931	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	全国平均	126	全国平均	1,976	全国平均	2,881	全国平均	19,894	全国平均	2,323	全国平均	9,988	全国平均	5,331	全国平均	31,858

# 「オゾン層を破壊する物質に関する モントリオール議定書 第21回締約国会合(MOP21)」 開催結果について

平成21年11月8日  
外務省等公表

き、コンタクトグループや少数人数会合等を含めた長時間にわたる交渉の結果、下記の内容が合意された。

## (1) HFC

HFCの生産・消費を規制するためにモントリオール議定書を改正するとの北米三か国(米・カナダ・メキシコ)等の提案が出されたことも踏まえ、HFCの扱いが議論された。ODSでないHFCについて、同議定書で新たな義務を負うことに対してインド、中国、ブラジル等の途上国の強い反発もあり、議定書改正提案は実質的に議論されなかった。また、コンタクトグループにおいて、2010年における追加会合の開催等も提案されたが、同様に途上国の反対が強く合意に至らなかった。

一の会議には締約国196か国(含むEC)のうち約190か国が参加(我が国からは外務省、農林水産省、経済産業省及び環境省の関係者が出席)し、HFC対策やODS(オゾン層破壊物質)のパンク対策、臭化メチルに関する不可欠用途申請等につき、長時間にわたる交渉が行われました。以下、外務省公表資料を掲載します。

今次会合では、とりわけ、オゾン層を破壊しないが高い温室効果を有する代替フロウであるHFC(ハイドロフルオロカーボン)の扱いが焦点となった。また、ODS(オゾン層破壊物質)のパンク(市中に既に出回っている冷凍空調機器の冷媒等として使用・貯蔵されているものや、これらが廃棄物として回収されもしくは税関等で没収されたものの破壊されずに放置されているもの)対策、臭化メチルに関する不可欠用途申請等につ

き、コンタクトグループや少数人数会合等を含めた長時間にわたる交渉の結果、下記の内容が合意された。

## (2) ODSパンク対策

HFCの生産・消費を規制するためにモントリオール議定書を改正するとの北米三か国(米・カナダ・メキシコ)等の提案が出されたことも踏まえ、HFCの扱いが議論された。ODSでないHFCについて、同議定書で新たな義務を負うことに対してインド、中国、ブラジル等の途上国の強い反発もあり、議定書改正提案は実質的に議論されなかった。また、コンタクトグループにおいて、2010年における追加会合の開催等も提案されたが、同様に途上国の反対が強く合意に至らなかった。

き、コンタクトグループや少数人数会合等を含めた長時間にわたる交渉の結果、下記の内容が合意された。

き、コンタクトグループや少数人数会合等を含めた長時間にわたる交渉の結果、下記の内容が合意された。

## (3) 臭化メチル

土壌くん蒸用臭化メチルの使用を2013年で全廃する予定のわが国の2011年分の申請量が、MBTOC(臭化メチル技術選択枝委員会)による勧告どおり決定された。また、臭化メチルの検疫及び輸出前使用(QPS)について、3日にワシントンが開始され、わが国がグラナダと共に共同議長を務めた。締約国会合では、EUからQPS使用量の凍結・上限設定や将来的な全廃について次回のMOP22で議論する等の内容の決定案が提案されたが、米、豪州その他の締約国からの反対が強かったため、最終的な決定案では、今後の削減方策、可能性に関する検討を専門家に依頼していくこと、EPPC(国際植物防疫条約)勧告の実施を推奨すること等のみが確認された。

今次会合は、本年9月16日(国際オゾン層保護デー)に東ティモール民主共和国が「オゾン層の保護のためのウィーン条約」及び「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」を締結し、世界のほとんどの国が網羅的にこの条約及び議定書に参加することを記念する会合となった。

我が国(経済産業省)が企業関係者の協力を得てノンフロウ技術やODS破壊に関する日本の技術をブースで紹介したほか、11月4日に国連環境計画(UNEP)の協力を得てサイドイベントを開催し、多くの参加者の関心を集めた。また、我が国(環境省)よりフロウ回収・破壊に係る制度・取組を展示等により紹介した。

我が国(農林水産省)が土壌用臭化メチル全廃に向けた国内の取組や技術開発の進捗状況について11月5日にサイドイベントを開催し、途上国との臭化メチル代替技術開発の共同研究の可能性等について多くの参加者との間で活発な質疑応答がなされた。



経済産業省によるブ・ス展示

# 平成21年度 下半期 兵庫県フロン回収・処理推進協議会 取り組みについて

本協議会では、本年度、新規事業も含め、さまざまな事業を実施してきました。  
ここでは、下半期に実施した主な取り組みについてご紹介させていただきます。

## 第一種フロン類（業務用冷凍空調機器） 回収・処理技術講習会の開催

第二種フロン類（業務用冷凍空調機器）を取り扱う会員を対象とした技術講習会を次のとおり開催しました。（本講習会の受講は、兵庫県で「第一種フロン回収業者登録」の申請を行う際に必要となる条件「フロン類及びフロン類の回収方法に十分な知見を有すること」を満たす資格として認められています。）



### (1) 開催日時及び会場

神戸地域

〔第一回〕

日程 平成 21年 11月 20日（金）

会場 三宮国際ビル（神戸市）

参加者 会員 29名 非会員 44名

〔第二回〕

日程 平成 22年 1月 26日（火）

会場 三宮国際ビル（神戸市）

参加者 会員 13名 非会員 37名

姫路地域

日程 平成 21年 12月 22日（火）

会場 姫路労働会館（姫路市）

取り組み

参加者 会員 34名 非会員 70名  
阪神地域

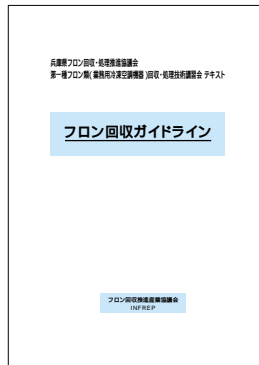
日程 平成 22年 2月 9日（火）

会場 尼崎リサーチセンター（尼崎市）

参加者 会員 11名 非会員 53名

### (2) 講習内容

- フロン回収・破壊法と改正要点について
  - フロン回収・処理技術について
  - フロン回収作業の手順
  - フロン回収の作業標準について
  - 冷媒回収の仕組み
  - 冷媒回収の具体的な事例 等
- 【使用テキスト】  
「フロン回収ガイドライン（NPO作成）」等



### 「地球温暖化防止・

### オゾン層保護フェア」の開催

「公益信託地球環境保全フロン対策基金」の助成を受け、県下各地で「オゾン層保護・温暖化防止フェア」を開催。  
兵庫県内で開催される環境イベント等において、地球温暖化防止・オゾン層保護に関するパネルの展示やパンフレット配布等を実施するなど、広く普及・啓発を実施しました。

### [参加イベント一覧]

開催地区	イベント名	開催日	参集人数
神戸	新エネルギー導入促進展示会	1/14～19	1,600名
阪神南	西宮市民祭り	8/22	62,000名
阪神北	環境フェスタ2009	11/1	200名
東播磨	夏休み・親と子の太陽光発電フェア	8/13	100名
	ミニソーラーカー親子工作教室	1/23	50名
中播磨	ひめじ環境フェスティバル2009	10/3・4	33,000名
但馬	ひょうごエコフェスティバル2009	11/14・15	10,000名
丹波	丹波の森の祭典	5/30	5,000名



なお、フェア開催にあたり、普及啓発用パンフレットとして、新たに「地球温暖化防止オゾン層保護パンフレット」を作成。県下各地で2万部以上配布しました。



**「フロン回収行程管理票を無償で配付 第一種フロン類（業務用冷凍空調機器）関係**

本協議会では、20年度より、会員の皆様へのサービスの充実と的確な法施行の運用・普及を図ることを目的として、行程管理票を無償で配付しています。

**【配付物・部数】**

- ・ 32RFP作成「フロン回収行程管理票」(汎用版)
- ・ 1会員につき、年間40枚まで

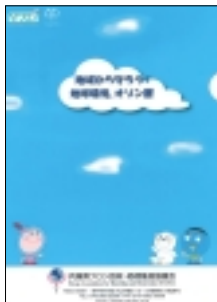


**パンフレット等**

**普及啓発用資材の作成・配布**

本協議会では、フロン類が地球環境に及ぼす影響やフロン回収・処理の仕組みやその必要性等を広く周知するため、各主体に合わせたパンフレットやチラシ等を作成しています。

普及啓発用、社内研修用など、積極的に活用ください。



**「みんなのフロン回収」利用ください。**

- ・ 社内の啓発、研修資料等として
- ・ 顧客等一般工場の普及啓発、説明用資料として
- ・ 各種イベント等での普及啓発用資料として など



RRC（冷媒回収推進・技術センター）が昨年12月「冷媒回収処理 フロン大気排出削減ガイド フロン排出ゼロ化に向けて」（カラー・A4サイズ）を発行しました。このガイドは、フロンの回収処理に携わる方々を対象とした実用的なガイドで、フロン回収作業時におけるフロンの排出事例を16項目にまとめ、その原因と解決策を写真やイラストを多用し、わかりやすく解説しています。



RRCのホームページよりダウンロードできますので、ぜひご覧ください。十分な知識・技術力と適正な管理により、「漏らさない」「逃がさない」フロン排出ゼロ化に向けた回収を実践下さいますようお願いいたします。

詳しくは、RRC（冷媒回収推進・技術センター）事務局まで

TEL 03-3435-9411

<http://www.rrc-net.jp/>



## 第一種・第二種フロン類回収業者の皆さまへ

「フロン回収・破壊法」に基づく平成21年4月1日～平成22年3月31日のフロン類回収量等について、「報告ください」。

第一種フロン類回収業者(すべての方)

〔報告期限〕 5月17日(月)締切

第二種フロン類回収業者

(自動車フロン券がついたフロンを平成20年3月31日時点で保管されていた方のみ)

〔報告期限〕 6月30日(水)締切

その他

申請書類は兵庫県ホームページから入手できます。「電子県庁」「手続案内・様式提供」(申請書等ダウンロードサービス)、「キーワード:『フロン』」

提出先

登録番号(28で始まる9桁の番号)の5桁目が管轄県民局の番号です。

例:281010001

5桁目が「1」であるため左図県民局名より阪神南県民局となります。

地域別受付県民局名(住所/電話番号)		
神戸市		
0	神戸県民局 〒650-0004	環境課 TEL(078)361-8629 神戸市中央区中山手通6-1-1
尼崎市、西宮市、芦屋市		
1	阪神南県民局 〒660-8588	環境課 TEL(06)6481-7641 尼崎市東難波町5-21-8
伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町		
3	阪神北県民局 〒665-8567	環境課 TEL(0797)83-3101 宝塚市旭町2-4-15
明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町		
4	東播磨県民局 〒675-8566	環境課 TEL(0794)21-1101 加古川市加古川町寺家町天神木97-1
西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町		
5	北播磨県民局 〒673-1431	環境課 TEL(0795)42-5111 加東市社字西柿1075-2
姫路市、神河町、市川町、福崎町		
2	中播磨県民局 〒670-0947	環境課 TEL(0792)81-3001 姫路市北条1-98
相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町		
6	西播磨県民局 〒678-1205	環境課 TEL(0791)58-2100 赤穂郡上郡町光都2-25
豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町		
7	但馬県民局 〒668-0025	環境課 TEL(0796)23-1001 豊岡市幸町7-11
篠山市、丹波市		
8	丹波県民局 〒669-3309	環境課 TEL(0795)72-0500 丹波市柏原町柏原688
洲本市、南あわじ市、淡路市		
9	淡路県民局 〒656-0021	環境課 TEL(0799)22-3541 洲本市塩屋2-4-5

(問い合わせ先)

兵庫県農政環境部環境管理局大気課  
大気環境係

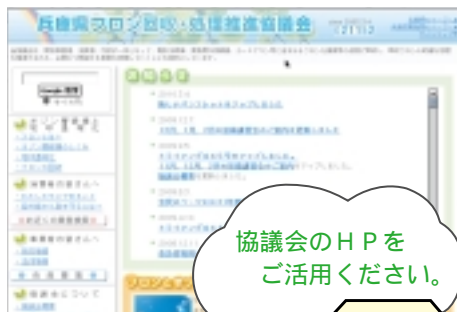
Tel. 078(341)7711(内線3369)

E-mail: Taikika@pref.hyogo.lg.jp

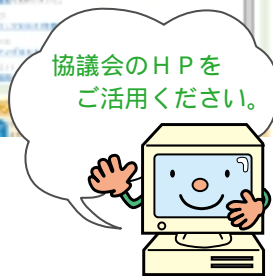
協議会のHPをご活用ください。

協議会では、会員の皆さんへの情報提供や、県民の皆さんへのフロン回収・処理に関する普及啓発のためのツールとして、協議会専用のHPを開設しています。

会員の皆さんは、積極的にご活用ください。また、協議会HPに関するご意見やご要望もお待ちしております。



協議会のHPをご活用ください。



トライアングルの内容を充実させるため、会員の皆さん方からの情報等をお待ちしています！

トライアングル (2010.3) 第46号 ~ 県民・事業者・行政が一体となって ~



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



発行：兵庫県フロン回収・処理推進協議会  
Hyogo Association for Recycling and Destruction Of CFC's (HARDOC)  
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 (兵庫県庁大気課内)  
TEL. 078-362-3285 / FAX. 078-362-3966  
URL. <http://www.hardoc.org>

PRINTED WITH  
SOY INK  
環境に優しい  
「大豆油インキ」  
(本文使用)